

V章 調査研究・学会発表実績

1 東部保健所

平成 30 年度

種 別	番 号	著者名(発表者名) 全員の氏名(記載順)	題目・論旨(担当課名)
第 64 回 大分県 公衆衛生 学会	1	○世古 なぎ 穂満 史子 下田 祐子 安達 悦子 久々宮 浩子 力徳 広子 内田 勝彦	<p>題目：学生食育推進サポーター（Food Education Supporter）による主体的な活動に向けた新たな取組について</p> <p>論旨：平成 25 年度から実施してきた「味力あふれる大学生生活応援プロジェクト」について、これまでの取組の成果と「大学生の食に関する実態調査」結果をもとに検討した今後の取組を報告した。</p> <p style="text-align: right;">（地域保健課）</p>
	2	○齋藤 百有子 丸山 瑞季 隅 千里 庭瀬 朋美 力徳 広子 内田 勝彦	<p>題目：東部保健所管内精神障がい者地域移行・地域定着支援事業の取組について</p> <p>論旨：精神障がい者が地域で安心して生活するための体制整備のために、平成 25 年度から保健所が中心となって実施してきた事業の取組を整理し、今後の保健所の取組の方向性について報告した。</p> <p style="text-align: right;">（地域保健課）</p>
	3	○足立 佐智子 宮崎 裕紀 黒木 富美 秦 桂子 力徳 広子 内田 勝彦	<p>題目：健康に特化しない多様な主体との協働 ～結果としての健康増進をめざして～</p> <p>論旨：『県民健康意識行動調査』において明らかになった市町ごとの健康課題の解決に向け、各市町や多様な主体と連携を図りながら対策を進めている。多様な主体と協働する要因と保健所の働きかけについて報告した。</p> <p style="text-align: right;">（地域保健課）</p>
平成 30 年度 環境関係 業務事例 発表会	4	○平田 翔児	<p>題目：放流先のない浄化槽について</p> <p>論旨：県要綱で放流先のない浄化槽の設置は原則認めていないが、例外的に認める場合、明確な指針が定めていないため、環境保全上の支障が生じる可能性がある。そこで、管内の事例や他自治体の指針等を紹介し、問題解決に向け提案を行った。</p> <p style="text-align: right;">（衛生課）</p>

2 国東保健部

平成 30 年度

種 別	番 号	著者名(発表者名) 全員の氏名(記載順)	題目・論旨(担当課名)
第 64 回 大分県 公衆衛生 学会	1	○西 貴司 百武 兼道 宇都宮 公平 山瀬 敬治	題目：加湿器を原因とした老人福祉施設でのレジオネラ症集団発生事例について 論旨：管内の老人福祉施設で 2017 年 12 月から 2018 年 1 月にかけて入居者 3 名がレジオネラ症を発症し、うち 1 名がレジオネラ症により死亡した。調査の結果、ポータブル加湿器が感染源であることが判明した。当保健部は、再発防止のため指導・助言を行い、一連の対応をまとめた。 (健康安全・衛生課)
第 64 回 大分県 公衆衛生 学会	2	○大下 香菜 山口 輝華 野田 礼子 中西 信代	題目：国東保健部管内の神経難病患者の現状とニーズに沿った支援の検討 論旨：保健師があらかじめ支援ニーズを予測して関われば迅速に必要な支援ができるのではないかと考え、神経難病患者及び家族の支援ニーズ並びに保健師の家庭訪問時の支援内容について分析し、報告した。 (地域保健課)
平成 30 年度 食品衛生監 視員・と畜 検査員・狂 犬病予防員 研究発表会	3	○西 貴司 百武 兼道 宇都宮 公平	題目：食品衛生協会と連携した HACCP (ハサップ) 導入支援の取組 論旨：平成 27 年度から平成 30 年度にかけて国東食品衛生協会が実施した「国東版 食の安心・安全・五つ星事業」、「くにさき食の神仏習合プロジェクト」及び「とりくもう HACCP!! (連続講座)」に当保健部が食品衛生の観点から支援した内容をまとめた。 (健康安全・衛生課)
平成 30 年度 環境関係 業務事例 発表会	4	○西 貴司 百武 兼道 宇都宮 公平 山瀬 敬治	題目：加湿器を原因とした老人福祉施設でのレジオネラ症集団発生事例について 論旨：管内の老人福祉施設で 2017 年 12 月から 2018 年 1 月にかけて入居者 3 名がレジオネラ症を発症し、うち 1 名がレジオネラ症により死亡した。調査の結果、ポータブル加湿器が感染源であることが判明した。当保健部は、再発防止のため指導・助言を行い、一連の対応をまとめた。 (健康安全・衛生課)